



NOZAWA news

やすらぎと安心の創造

株式会社ノザワ
<http://www.nozawa-kobe.co.jp>

Vol. **17**
2010— Autumn
平成22年秋号

企業のイメージを外壁に表現。

新日本製鐵 君津製鐵所本館

アスロック 施工レポート

この建物は、塩害地域に建つことと長期メンテナンス性を考慮して、外壁にアスロックが採用されました。新日本製鐵のCI表出を意図し、鉄固有の「輝線スペクトル」のモチーフを、数種類のリブパターンが織りなす深い陰影を利用して、表現しています。まさに、鉄を使わず鉄を表現した建物です。

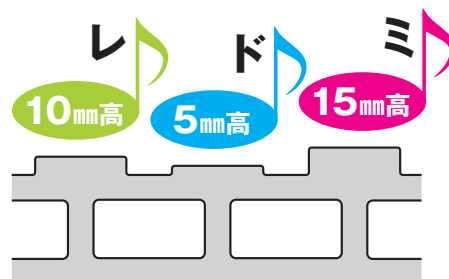


- 建物名：新日本製鐵君津製鐵所本館
- 所在地：千葉県木更津市
- 設計：竹中工務店
- 施工：竹中工務店
- 外壁：アスロック60mm厚
タスロック75mm厚
ストライプライン75mm厚
リブブロックフォー75mm厚
現場塗装仕上げ
- 主な掲載誌：ディテール2010.3号
近代建築2010.5号

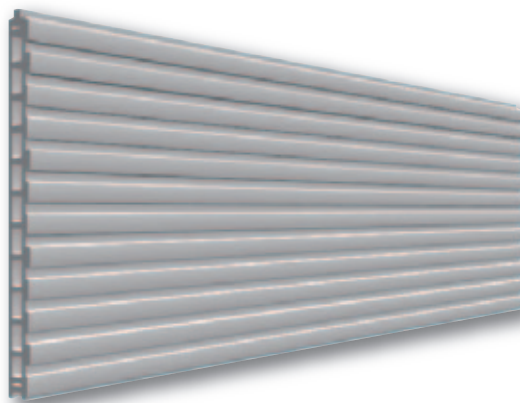
第1期当選発表

デザインパネルキャンペーン

阿波設計事務所 高橋 秀夫 様



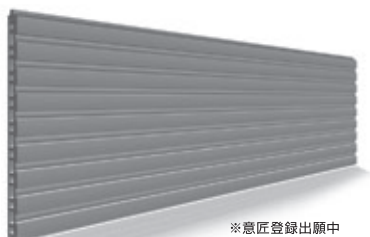
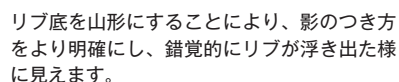
リブの高さを音階の高さに見立て、いろんな曲をリブで表現したいと思い応募しました。例えば、「ふじの山」なら「ソソラソミドレミ」の音階を、そのままリブの高さにすると面白いデザインが可能です。また、リブの高さを自由に変えることが可能なら、クライアントの建物に対する思いを好きな曲になぞらえて表現する事ができます。



アスコック 斬新なデザイン表現を可能に！ **Design Panel 900** ダイナミックな壁面構成を可能に！

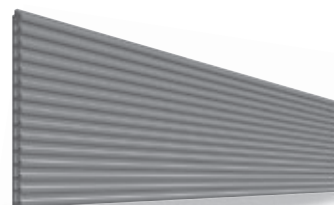
900 ORIGINAL DESIGN

シェイドロック 900

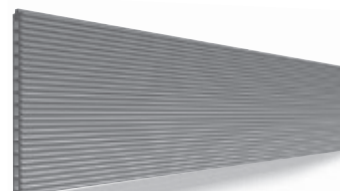


※意見登録出願中

タスロック 900



ストライプライン 900



セメントパネルの重厚な質感を保ちつつ
ツバンドレルの繊細なラインを表現
しました。

「アスロックデザインパネルキャンペーン」に多くのご応募をいただき、厚く御礼申し上げます。
厳正に審査しました結果、以下の方々を表彰させていただきます。対象者の方々には、
記念品を持参させていただきます。第2期にも奮ってご参加くださるよう、お願いいたします。



優秀賞

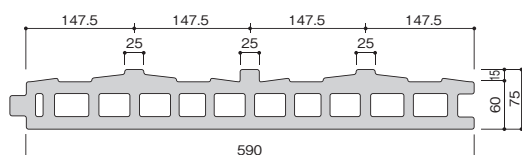
総研設計

木村 拓子 様

■設計コンセプト

規則的に並ぶリブが落とす影は、フラット面と勾配面でその長さを変え、光の当たる方向により様々な表情を見せます。

単調になりがちなパネルの表情を、リズムカルでランダム性のあるものにすることをデザイン意図としました。

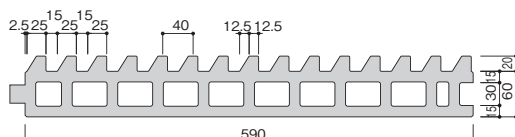


日建設計

高木 研作 様

■設計コンセプト

これまで、有ったようで無かったデザイン。シンプルでかつ、ちょっと気の利いた新しいアスロックを目指しました。横張り工法では、水切り形状で汚れず、縦張り工法では、左右で異なる表情を演出します。

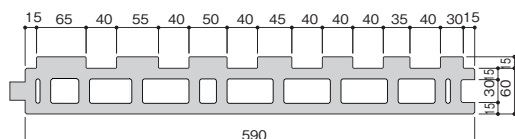


大林組

今野 興宣 様

■設計コンセプト

アクセントとしてデザインパネルを使用する場合、面や角度を変えて施工すると、より表情豊かな表現ができます。リブ幅に一方方向の規則的な変化を持たせたこのパネルは、パネル面でのリブによる影と、施工角度による影との相乗効果によって、より繊細なアクセントを演出します。



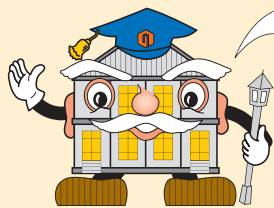
(掲載は受付順です。)

佳作

田淵 愛 様	沖本初建築設計事務所
萩森 薫 様	日建設計
佐藤 正博 様	清水建設
中藺 哲也 様	ナフ・アーキテクト&デザイン
山本 一晃 様	リブ建築設計事務所
辻村 周平 様	菅匡史建築研究所
田原 麻美 様	あい設計
早川 昌宏 様	早川設計事務所
興梠 通 様	日建設計
古舘 英雄 様	安藤建設
野村 恒司 様	鹿島建設
西出 智春 様	清水建設

(掲載は受付順です。)

【総評】 第1期は、総数77件のご応募の中から、製造の可否、意匠登録の可否などで審査させていただきました。独創性の高いデザインを数多くご提案いただきましたが、製造能力上対応できない形状も有り残念な思いです。最優秀賞は、リブの高さを音階の高さに見立て、いろんな曲をリブで表現するという素晴らしいご提案をいただきました。製造上の制約から、音階を全てリブ高さに変換するのは難しく、設計意図を表現することは出来ませんでしたが、リブ山の自由な高さ変更について、早い段階で実現したいと考えています。



難問以外は即日ご返答させていただきます。
これからも当社製品・工法に関するお問合せは、
お気軽にカスタマーズ・サポート・センターにお寄せください。
support@nozawa-kobe.co.jp

異人館博士の Q&A

Q21. 建築基準法第12条に基づく「定期報告制度」の改正により、外装タイル等の劣化・損傷について、竣工・外壁改修等から10年を経ってから最初の調査の際に、全面打診等による調査を行うことになっていますが、アスロック下地の場合に打診調査は可能でしょうか。

A21. アスロックへのタイル張りは、ポリマーセメントモルタル張りの頃から、打診検査には熟練が必要と言われてきました。また弾性接着剤張りは、下地に係わらず打診検査は不可能との意見もあります。しかし、次の方法を行えば不可能では無いと判断しています。打診検査を行う場合は、通常のワイパー



状の動きに加えて、不信なタイルは指で押えて打診ハンマーで叩き、「指に振動が伝わったら浮き有る」との判断が可能です。この方法は、慣れてしまえば誰でも出来る方法と判断しています。

定期報告制度改正内容（平成20年4月1日）

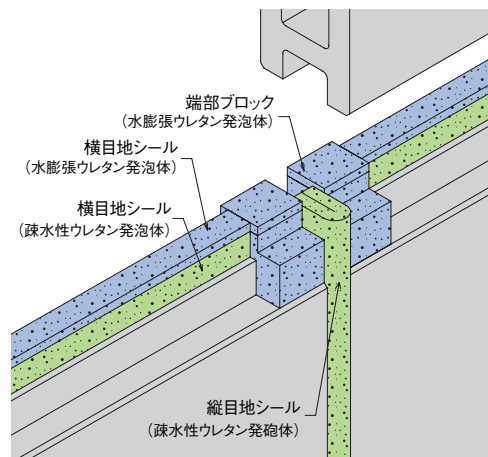
手の届く範囲を打診、その他を目視で調査し、異常があれば「精密調査を要する」として建築物の所有者等に注意喚起。



手の届く範囲を打診、その他を目視で調査し、異常があれば全面打診等により調査。加えて、竣工、外壁改修等から10年を経る最初の調査の際に、全面打診等により調査。

セフティシール横張り工法の姉妹品 「セフティシール タイプM」新発売

「タイプM」は、中低層建築物に必要な止水性能に特化したことで、従来の「セフティシール工法」と比較してトータルコストの大幅削減を実現した商品です。2次シールとして、水を吸収して膨張することにより高い止水性を発揮する「特殊水膨張ウレタン発泡体」を採用しています。



ケイ酸含有苦土肥料 「マインマグシリーズ」発売中

「マインマグ」は、無機建築材料の改質技術を応用し、美味しさと品質をより向上させる農業用肥料として、東京農業大学と共同開発したものです。「マインマグ」は、丈夫な生育を促すとされる「ケイ酸」と、作物の光合成に不可欠な「苦土（マグネシウム）」を主成分としており、病気に強い作物作りに有効です。



神戸あれこれ (編集後記に代えて)

◇第十七話「兵庫の大佛つつあん」

大佛と言えば、すぐに奈良と鎌倉が思い浮かびますが、神戸にも大佛さんがいます。兵庫区の能福寺にあるこの大佛さんは、1891年（明治24年）に建立され、当時は神戸港に着いた外人客から「神戸のマスコット」として、多数の参拝者を集めました。このマスコットは、第2次大戦中に金属回収令により一旦解体されましたが、建立100年後の1991年（平成3年）に再建され、奈良の大佛さん（東大寺）と鎌倉の大佛さん（高徳院）から公認をいただき、晴れて「伝統日本三大佛」として仲間入りをしました。

さて、この能福寺にはもう1つ目を引く物があります。それは、英文を刻んだ石碑で、日本初ではないかと言われています。西洋人が次々と訪れて、お寺の説明にとてもご舞いだった住職が、ペリー総督の通訳を勤めたジョセフ・ヒコ（浜田彦蔵）に依頼して漢文を英訳したものです。

今回は、「ハイボールはレトロバーで」です。



兵庫の大佛つつあん（イラスト：中井 繁）